

地域に出向いて野外学習をする場合は、当該地域や学習のテーマに関する事前調査が必要です。この授業では、山間地域のひとつの事例として浜田市弥栄町の農林業と暮らしについて学習をしますので、つぎの1～8の項目について、文献やインターネットの情報を利用して調べ、下の要領でレポートを作成・提出してください。なお、しばしば市町村のホームページに統計情報等がまとめて掲載されていますが、その多くは国の統計等を利用したものであり、学習者としては一次資料にさかのぼって調べるべきでしょう。また、統計等に用いられている用語がわからない場合は、自分で調べるようにしてください。

1. インターネットの地図情報、国土地理院発行の地形図などを利用して、浜田市弥栄町の**位置、地勢**（地形といってもよいでしょう）を把握しよう。
2. 浜田市弥栄町の**気候**（月ごとの平均気温、降水量、積雪深、など）について、気象庁ホームページの「過去の気象データ検索」（<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>）で調べてみよう。特定の年ではなく、平年値をみるようにします。
3. 国勢調査のデータを用いて、浜田市弥栄町（旧弥栄村）の**1980～2010年の5年ごとの人口**を調べてみよう。①1980～2000年は、**ア**. 総務省統計局の「平成22年国勢調査」のページ（<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/>）から「時系列データ」のリンクをクリックして、**イ**. 「政府統計の総合窓口」のページ（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001011777>）に移動し、「男女、年齢、配偶関係」のボタンをクリックして、**ウ**. 「年齢（3区分）、男女別人口及び年齢別割合—都道府県、市町村（昭和55年～平成22年）」の「島根県」の[Excel]のボタンをクリックしてファイルをダウンロードするのが簡単でしょう。②2005～2010年は、上のファイルには旧弥栄村の数値がないので、**ア**. 総務省統計局の「平成22年国勢調査」のページ（<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/>）から「小地域集計結果」の[e-Stat]のボタンをクリックして、**イ**. 「政府統計の総合窓口」のページ（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001039448>）に移動し、「人口等基本集計（男女・年齢・配偶関係、世帯の構成、住居の状態など）」の「都道府県結果」から「32 島根県」のリンクをクリックして、**ウ**. 「1 人口、人口増減、面積及び人口密度—都道府県※、市部※、郡部※、市町村※・旧市町村」の[CSV]のボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。2005年（平成17）のデータも掲載されています。

4. 浜田市弥栄町の**林野面積**および**林野率**について、2010 年世界農林業センサスのデータを調べてみよう。**ア.** 農林水産省の「2010 年世界農林業センサス報告書」のページ (<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2010/houkokusyo.html>) から「第 1 巻 都道府県別統計書 (全 47 冊)」のリンクをクリックして、**イ.** 「[島根県][外部リンク]」のリンクをクリックして、**ウ.** 「政府統計の総合窓口」のページ (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001036120&cycode=0>) に移動し、「7 農山村地域調査」の「1 総土地面積及び林野面積」の[Excel]のボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。旧市区町村 (1950 年 (昭和 25) 2 月 1 日現在) のデータも掲載されているので、現在の浜田市弥栄町の数値は、(合併前の) 安城村と杵束村の数値を計算することによって求められます。
5. (日本の) **木材価格の変化**について、農林水産省の資料などを用いて調べてみよう。①1960～2004 年については、**ア.** 農林水産省の「木材価格統計調査」のページ (<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuryu/kakaku/index.html#m>) から「長期累年統計表一覧 [Excel : e-Stat]」のリンクをクリックして、**イ.** 「政府統計の総合窓口」のページ (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001061499>) に移動し、「8 素材価格累年統計 全国(昭和 35 年～平成 16 年)」の[Excel]のボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。②2005 年以降は、簡単のために、林野庁の「平成 22 年度森林・林業白書全文 (HTML 版) > 第 1 部第 V 章第 1 節 林産物需給の動向 (3)」のページ (http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/22hakusyo_h/all/h47.html) を参照するとよいでしょう。掲載されている樹種等はいくつかありますが、ひとつの指標として「すぎ中丸太 (径 14～22cm、長 3.65～4.0m)」を使用することとします。
6. 浜田市弥栄町の**農家数**、(総農家等の) **経営耕地面積**、**耕作放棄地面積**、(販売農家の) **年齢別農業従事者数**、(販売目的の) **稲の作付農家数**と**作付面積**などについて、2010 年世界農林業センサスのデータを調べてみよう。上の 4 の**ア**、**イ**と同様の手順をふみ、「政府統計の総合窓口」のページ (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001036120&cycode=0>) で、該当する[Excel]のボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。なお、現在の浜田市弥栄町の数値は、(合併前の) 安城村と杵束村の数値を計算することによって求められます。
7. 日本の**米の生産量**の推移について、農林水産省の資料などを用いて調べてみよう。**ア.** 農林水産省の「食糧統計年報」のページ (http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/syokuryo_nenkan/index.html) の「平成 20 年 [Excel:e-Stat]」のリンクをクリックして、**イ.** 「政府統計の総合窓口」のページ (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001065026>) に移動し、「1 米穀の収穫量 全国年次別 (昭和 36 年～平成 20 年)」の[Excel]

のボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。

8. 60kg 当たりの**米の生産費**（全算入生産費）および**価格**について、農林水産省の資料などを用いて調べてみよう。①生産費のデータとしては中国地方のそれを経年的にみることにし、**ア**. 農林水産省の「農産物生産費統計」のページ（http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/index.html#1）の長期累年統計表一覧の「米及び小麦の生産費〔Excel：e-Stat〕」のリンクをクリックして、**イ**. 「政府統計の総合窓口」のページ（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001014632&cycode=0>）に移動し、「1-5 米生産費の全国農業地域別・年次別比較 60kg 当たり生産費・中国～九州」の〔Excel〕のボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。②価格のデータについては、2006～2011 年産については、農林水産省の「米の相対取引価格」のページ（<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>）の年産別平均価格の各リンクをクリックして表示、または、ダウンロードします。島根県産コシヒカリを参照するとよいでしょう。③より長期的（1951～2008 年）には、上の 7 の**ア**、**イ**と同様の手順をふみ、「政府統計の総合窓口」のページ（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001065026>）で、「1-1 米穀 政府買入価格」の〔Excel〕のボタンをクリックしてファイル（2003 年以前と 2004 年以降の 2 つに分かれている）をダウンロードします。

【作成・提出要領】

作成方法 …… ワードプロセッサ使用。A4 判用紙を縦に使い、横書きとする。その他は、ページ数を含め、とくに指定しない。ワード文書の名前は「山陰フィールド学習(受講者氏名)」とする。

提出方法 …… ワード文書をメール添付にて担当教員（s-hayashi@u-shimane.ac.jp）宛送付する。

締切 …… 2013 年 9 月 6 日（金）24 時

【問い合わせ・相談】

担当教員 …… 林 秀司（島根県立大学、s-hayashi@u-shimane.ac.jp）